Officeの新しいカタチ「Office 365」とは？

Office 365とは、マイクロソフトが開始した新しいOfficeの販売形態です。これまでのパッケージ版やプレインストール版でとは異なり、利用料金を毎月（または毎年）支払って、料金を払っている期間、Officeを利用できるという「サブスクリプション型」の販売形態です。

Office 365は、大きく個人向けと法人向けの2つに分かれますが、ここでは個人向けについて説明します。個人でOffice 365を契約するには、2つの方法が用意されています。1つは「Office Premium」のプレインストールパソコン（Surface Pro 3も含まれます）を購入する方法です。「Office Premium」のプレインストールパソコンには、Officeのデスクトップアプリケーションがインストール済みで、かつ1年間のOffice 365のサービスが使えます。

プレインストールされているOfficeアプリケーションは、そのパソコンでのみ永続利用が認められていて、無償で最新版にアップデートできます。ただし、OneDriveやOffice for iPad/iPhoneなどのOffice 365サービスについては、2年目以降も継続して利用するなら、5,800円/年（税抜）を支払う必要があります。

もう1つは「Office 365 Solo」を購入する方法です。これは、OneDriveやOffice for iPad/iPhoneなどのOffice 365サービス部分だけでなく、WordやExcelなどのOfficeのデスクトップ版アプリケーションも、月単位または年単位で利用できる契約です。2台の PCまたはMac、2台のタブレット（iPadを含む）、および2台のスマートフォンでOffice を活用でき、支払い方法は、次の2つを選択できます（年払いの方が16％ほどお得です）。

* 1ヶ月間……1,274円
* 1年間……12,744円

なお、従来のパッケージ版も引き続き提供されます。ただし、利用できるのはPC1台とノートPC1台までで、OneDriveやOffice for iPad/iPhoneなどのOffice 365のサービスは利用できません。